

コロナ禍でも… ロックンロールは鳴り止まない!

新型コロナウイルスの蔓延により、大きな打撃を受けたイベント業界。

そんな中でも必死に開催に向けて準備をおこない、成功させてきた4つの音楽フェスを紹介する。



photo by Yuga Otsubo

FREEDAM NAGOYA (愛知県)

2010年から愛知県で開催されている入場無料のロックフェスティバル。過去には2日間で6万人以上を動員し、東海地区最大級のロックフェスとして親しまれている。この規模感としては異例の無料開催にこだわる理由を実行委員長の綿谷剛さん(36)は、「自分が音楽活動でお世話になった名古屋で、音楽の素晴らしさ、ライブの楽しさをもっとたくさんの人に発信したいから」と発言している。コロナ禍での開催となった2021年は、会場を屋内のAichi Sky Expo(常滑市)に移して6月19日に開催され、徹底した感染対策のもと感染者0で幕を閉じた。

タッグでフードロスを救え!

百舌鳥古墳とコラボした新銘菓

大阪初の世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」をイメージしたスイーツ「もずふるサブレ」。コロナ禍での売上減少をバネに、地元・堺市の老舗和菓子店の協力を得て、あらたに和風サブレを共同開発。プロデュースした株式会社つる・ど・堺の松永友美さんに開発秘話を伺います。



百舌鳥古墳群
参照 つる・ど・堺 公式HP



宝泉菓子舗



「もずふるサブレ」、6枚入りで842円(税込)。

Q. 世界遺産とコラボをするに至った経緯ときっかけを教えてください

A. 元々の取引先である老舗和菓子屋の宝泉菓子舗さんと、「既存の商品にはないなにか新しい物を作りたい」と話していたのがきっかけでした。そこで和菓子とはあえて離れて洋菓子であるサブレを試作してみたところ、今までに無いテイストで良い出来になったので、どうせならいつもとは違った形で出そうということ、地元の誇る世界遺産である、百舌鳥古墳群とのコラボを打診しました。宝泉菓子舗さんは地元の有名人お菓子屋さんということもあり、「地域のつながり」がこのお菓子のテーマだったりもします。

Q. 実際に新商品を開発するにあたって苦労した点などを教えてください

A. いざ商品開発となるとかなり苦労しました。あくまで私たちは和菓子屋なので、洋菓子でも和菓子屋にしか出せない味やアクセントを出さなければ意味が無いと思っていて。そこで使い方や鮮度ともにバッチリな、元々店にある和菓子の材料を入れて味付けしてみようということになり、目をつけたのが葛の花と抹茶でした。和菓子屋で代々受け継がれてきた抹茶の味はもちろん、葛の花も雑味がなく味をまるやかに整えてくれる役割を持ち、さらに冷え性を緩和し自然の生薬としても有名なので、普段より若い層がターゲットになるサブレにはうってつけだと考えました。和菓子屋ならではのサブレに仕上がったと自負しています。

A. とくに気をつけているのは品質管理です。当社の商品は、最もおいしい状態で食べてもらうために、賞味期限を規定の3分の1程度短くしています。運搬や陳列の時間など、商業的なデメリットがありますが、やはり最良の状態です。食べていただき、お客さんに笑顔になってもらうことがいちばんなので、これからも変わらずに精進していきます。

Q. 最後に、お菓子作りで日々気をつけていることを教えてください



葛(くず)の花

フェスは本当に安全なのか？ 実際に行ってみた！

in VIVA LA ROCK 2021



新型コロナウイルスの蔓延によりさまざまな規制やガイドラインが引かれ、人数緩和での開催はおろか開催中止を余儀なくされたライブ、フェスは多い。そんな中、埼玉県の完全協力のもと開催に踏み切り、クラスター0の成功を取めた、「VIVA LA ROCK 2021」に参加したので、実際のウイルス対策なども紹介したい。

アーティストと共に徹底した感染対策

入口を通ると4列に別れての規制入場でそれぞれチケットの確認、検温がおこなわれた。待機列も前の人との間隔はかなり空けられていて、混雑して人と接触するようなこともいっさいなかった。

そして、アルコール消毒をしいよいよ会場入り。フェスが開催された5月1日の時点ではガイドラインの規定により、客席は1席空けるということが定められていた。だが、ほかのライブでそのルールが破られてしまっている場面を多々見ていたので、少々心配していた。しかし、それはどうやら杞憂だったようで、会場に入るや否や使用不可の座席に出演アーティストによるメッセージが張られているのを目にした。

お目当ての出演アーティストに、それぞれの個性を活かしたイラストやサインと共に「席に座らないで」とのメッセージを書かれたら、ルールを破れる人はいないだろう。さらにその種類は30、40種類に及び、写真を撮りSNSに投稿する人も多く、エンタメ性にも優れていた。実際私も会場の席を友人と手分けして回り、好きなアーティストの張り紙を撮影して送りあった。コロナ禍での開催によるデメリットが、むしろ楽しめるポイントになっていてとても驚いた。



アーティストによる注意書き。

黙食の徹底

いちばんの懸念材料であった食事は、食事するためだけの専用ブースを上階に設置し、黙食を徹底するという対策だった。さらには監視して使い終わったブースをすぐに消毒して誘導してくれる係員が、大体5席くらいの間隔で待機。かなり厳重な対策がされており、安心して食事ができた。



食事ブースでは黙食を呼びかけた。



ROCK CIRCUIT 2021 in EZO (北海道)

「RISING SUN ROCK FESTIVAL」を主催する北海道エリアのコンサートプロモーターのWESSが2021年新たに開催した野外ロックフェスティバル。新型コロナウイルスの影響により、2年連続での開催中止を余儀なくされた、「RISING SUN ROCK FESTIVAL」の精神を継承し、北海道の音楽文化の灯りをつなぐ野外イベントとして、8月13日、14日に2日間の公演がおこなわれた。出演者の特徴としては、「Vaundy」や「緑黄色社会」などの今をときめくアーティストが多く、たくさんの音楽ファンを沸かせた。



VIVA LA ROCK 2021 (埼玉県)

さいたまスーパーアリーナ(さいたま市)で毎年開催される、日本のミュージックシーンの今を担う旬のアーティストたちがこぞって集結する、国内を代表するロックフェスのうちのひとつ。2021年は埼玉県の完全協力の元、ガイドラインの徹底により新型コロナウイルスが流行して以降初めての関東での大型フェスとして5月1日から5日まで5日間開催。見事にクラスターも起こさず、関東のフェス再開の先がけになった。



ヤングタイガー (大阪府)

2021年は7月22日に大阪城音楽堂にて開催された、次世代を担う若手アーティストのみを集めたライブイベント。前身イベントである「ヤングライオン」を含めると2021年で10回目を迎えており、過去には「マカロニえんぴつ」や「羊文学」などの現在ブレイクしているバンドも多数出演していて、若手の登竜門的なイベントとされている。また前身イベントである「ヤングライオン」の名残から、ステージは赤コーナーと青コーナーに分けられ、試合と称して交互にライブをおこなうことも特徴。

日本一ゆっくり買い物ができる場所
「ムジシンのフクヤ」

ムジシンのフクヤ

店員はお客様で
ごゆっくりご覧下さい
10/17

東京都中野区に佇む、1軒の古着屋。店名は「ムジシンのフクヤ」。一見普通の古着屋に見える店内を見渡すと、違和感を覚えた。店員が一人も見当たらない。レジが無い。存在するのは大量に並べられた服と、じっくり吟味する買い物客だけ。「珍しい」という一言では表しきれない販売形態は、従来のアパレル業界の常識を覆すものといえる。「日本一ゆっくり買い物ができる店」を掲げる、この店の経営者は平野泰敬さん(35)。なぜ彼は無人販売を選んだのか、その理由と背景に迫る。



オリジナルのリメイク古着

ファッション性もさることながら、衣類の大量廃棄問題の解決にも貢献できる「リメイク古着」。ぜひ一度手に取っていただきたい。



一方通行にならないために

店内にある1冊のノートは、お客様の要望を書いてもらうための物。このノートを使い、お客様の意見を取り入れる双方向性を実現している。



フランチャイズで全国展開を

従業員要らずの「ムジンノフクヤ」は、ほかの古着屋に比べて経営するハードルも高くない。いずれは全国に200店舗を展開していくことが目標。



防犯対策も抜かりなし

店内には3台の防犯カメラが設置され、死角はないが、さらにYouTubeで店内を24時間ライブ配信することにより、監視の目を増やしている。

無人店舗をフランチャイズで
古着の無人店舗の経営は、接客をする必要もなく、人件費もかからないことから、誰でも簡単にできるそう。将来のビジョンは、「主婦も気軽に副業で始められるような体制を作り、全国に広めていくこと」と平野さんは話した。平野さんに取材後、実際に私も無人店舗に行ってみた。そこには無人店舗ならではの工夫が満載で、店員がいないことに不便さを感じることはまったくなかった。中野発、謎の古着無人販売。その実態は、快適な買い物のため、環境のため、そんな熱い思いが込められた素晴らしいお店だった。ぜひ一度、訪れてみてはいかがだろうか。

古着を扱うことの「社会的意義」
「古着を扱うことで最も大きい社会的意義は、衣類廃棄を減少させられること」と平野さん。世界各国でも衣類の大量生産、大量廃棄による環境問題が話題となっている。着なくなった服を捨てるのではなく、別の誰かに届ける。そんな架け橋のような存在に、「ムジンノフクヤ」はなってくれるだろう。「今は無人販売がそれほど世の中に認知されていないので、珍しがつてもらえる」と話す平野さんは、これまでもテレビ番組や雑誌の取材を受けてきた。これから無人販売が増えてきたときに、どういう服を売っているかが生き残るための道と考える、ほかの古着屋と差別化をするため、もともとあった古着を切ったりつなげて、新しい形に作り直した「リメイク古着」の販売という結論に至った。「無人販売だけではなく、リメイクといえはムジンノフクヤと書いてもらえるような店にしたい」と平野さんは話した。

なぜ無人店舗に？
服を買ったうえで、試着はサイズ感を確かめるために最も重要な行為だ。
一方でオンラインサイトやフリマアプリなどで、試着をせず購入し失敗したという声も多い。しかし、コロナ禍の今、実際にお店で店員と接することを避けたいという人も増えている。「ムジンノフクヤ」では、店内に入ってから退店まで、誰とも関わらずに買い物済ませることができ、両方の望みを叶えることができる。
元々、インターネットでの古着販売をおこなっていた平野さんだが、今は一般人も簡単に古着を仕入れられる時代。普通に販売していても、価格競争でどんどん苦しくなっていくのは目に見えていた。店舗での販売も同様で、都内に350店以上あるといわれる古着屋に埋もれてしまう。
何か新しい切り口を探していた時に、Amazon.comが運営するレジなしコンビニエンスストア「Amazon Go」の存在を知り、「無人店舗型での販売」にたどり着いた。
日本一ゆっくり買える物ができる店
「お店で店員から声を掛けられるのが苦手。でも実物を見て買いたい、という方にこそ当店はぴったりな場所」と平野さんは語る。
店員がいないメリットについて、ソーシャルディスタンスの確保など、コロナウイルスの感染対策ばかり取り上げられがちだが、じつは「自由に買い物ができる」ことこそ、「ムジンノフクヤ」の本当の強みだ。
結果的にコロナウイルスの流行によって需要が高まったのは事実だが、感染対策が狙いではなかった。

① 店内に入ると最初に目に入るのは、食券販売機のような機械。券売機に代金を入れ、支払い完了という方法なのでレジがない。



② 服の値段は、ハンガーの色で区別されている。高くても5,000円を越えず、かなりお手頃の価格となっている。



③ 店内に並べられた服から、好みの一着を探す。お客様の多くが丁寧に扱ってくれるので、服が散らかることはない。



④ お気に入りの一着を見つけたら、出口付近にある回収箱にハンガーを入れ、服を持ってそのまま退店する。



地と人と

CONTENTS

ガイドブックにはない旅を 街の玄関「ゲストハウス」 初心者歓迎 葉山町から学ぶ Instagram 講座 音楽は止まらない SAVE our LIVEHOUSE 都心からいちばん近い自然があるこの町で 「気見せ！」「当地ナンバープレート」 翳りゆく食文化「屋台『たかちゃん』の挑戦」 100年先の未来を見据えて「Jリーグ×地域密着」 結びつく場所「子ども食堂で育まれる縁」 コロナ禍をバネにパワーアップ！地方銘菓の今 コロナ禍でも…ロックンロールは鳴り止まない！ 日本一ゆっくり買物ができる場所「ムジンノフクヤ」 魅る着物たち	60
関東限定「穴場アミューズメントパーク」！！	56
	52
	49
	46
	40
	34
	30
	26
	20
	16
	10
	2

EDITOR

山下凱生 下山風歌 鈴木陵我 田畑駿之介

西野小夏 松本響也 宮内 優 村上史弥

地と人と

2022年1月25日発行

〒270-0198 千葉県流山市駒木474

江戸川大学 メディアコミュニケーション学部

マス・コミュニケーション学科

本多 悟ゼミナール

2022 Printed in Japan